

7

漢字・語句・
じつばのきまり(1)

学習日 /

確認問題

1 次のそれぞれの文の [] の述語に対する主語を、——線部から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) ア さわやかな イ 風が ウ そよそよと エ ふく。
- (2) ア かの女の イ 歩く ウ 姿は エ とても キ きれいだ。
- (3) ア 書物は イ 私たちに ウ 新しい エ 知識を オ あたえる。
- (4) ア 父は イ 会社に ウ 出かける エ 前に オ 必ず カ 新聞を ク 読む。
- (5) ア 世界には イ 貧しい ウ 人々が エ たくさん オ いる。
- (6) ア ここには イ 私の ウ 好きな エ 花は オ ない。
- (7) ア おもしろかったね、 イ この ウ 前 エ 見た オ 映画は。
- (8) ア 話し合いの イ 結果、 ウ キヨシ君が エ 委員に オ 選ばれた。
- (9) ア 長い イ 間 ウ 私が エ 大事に オ 育てて カ きた キ バラが ク やつと ケ きのうに コ なって サイ いた。

(7)	(1)					
(8)	(2)					
(9)	(3)					
	(4)					
	(5)					
	(6)					

2 次のそれぞれの文の形をあとから選び、記号で答えなさい

- (1) 今日の海は、とてもおだやかだ。
- (2) チョウが、花の間をひらひらと飛び回る。

- (3) この本は、とてもおもしろかった。
 - (4) ぼくの父は、サラリーマンです。
 - (5) となりの庭のしばふは、じつに見事だ。
 - (6) わたしは、朝ごはんを食べる前に、一時間勉強する。
 - (7) わたしの着ているシャツの原料は石油です。
- ア 何が(何は)——何だ(名前・所属)。
 イ 何が(何は)——どんなだ(様子・性質)。
 ウ 何が(何は)——どうする(動作・作用)。

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

3 次のそれぞれの文の [] の修飾語(しゆしご)がかざっていることばを、——線部から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) ア 明日から イ あいよいよ ウ 新学期が エ 始まる。
- (2) ア あの イ 美しい ウ 花は エ 何と オ 名前だろう。
- (3) ア 最近、 イ 私の ウ 住む エ 村では オ 人口が カ 減った。
- (4) ア もちろん イ その ウ 話は エ 私も オ 聞いたが、 カ あまり キ 信用する ク わけには ク いかなかった。
- (5) ア みんなで、 イ 大きな ウ 木の エ 下で オ 楽しく カ 遊んだ。
- (6) ア 私は イ 急な ウ 坂道を、 エ 息を オ 切らしながら カ 登った。
- (7) ア 遠くに、 イ 私が ウ 通って エ いた オ 小学校の カ 校舎が キ ぼんやりと ク 見える。

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

4 次のそれぞれの文の に入る最も適切なことばをあとから選び、記号で答えなさい。

- (1) どうしてそんなことをするのです .
- (2) 君のはだの白さは、まるで雪の .
- (3) どうか、おひまなときに、おいで .
- (4) 私は、けっして自分が悪いとは思わ .
- (5) まさかかれが不合格になることはある .
- (6) たぶんかれは合格するだろ .
- (7) たとえ不合格になっ 、ぼくはくじけない。
- (8) もしこの実験が失敗し 、ぼくは絶望するかもしれない。

ア う イ ても ウ か エ まい
オ たら カ ない キ ください ク ようだ

(1)	<input type="text"/>
(2)	<input type="text"/>
(3)	<input type="text"/>
(4)	<input type="text"/>
(5)	<input type="text"/>
(6)	<input type="text"/>
(7)	<input type="text"/>
(8)	<input type="text"/>

5 次のそれぞれの文の には()のことばが変化したものが入ります。ふさわしい形に直したことをばを、ひらがなで書いて答えなさい。

- (1) 早めに手を ておかないと、たいへんなことになる。(うつ)
- (2) 一日中おしゃべりを たので、あごがつかれた。(続ける)
- (3) こっちへ ば、もっとよく見えます。(来る)
- (4) 弟はそんないたずらは、ぜったいに ない。(する)
- (5) 姉は十分間本を読んだだけで、もう てしまった。(あきる)
- (6) おばあちゃんは若 かったころ、とても たそうだ。(きれいだ)
- (7) ぼくはその本が て、たまらなかった。(ほしい)

- (8) あいつがそんなことをいうはずは う。(ない)
- (9) 父は、どんなときでも 話す。(おだやかだ)

(7)	(4)	(1)
(8)	(5)	(2)
(9)	(6)	(3)

6 次のそれぞれの文には、どこかに誤 あやま りがあります。その誤りの説明として適切なものをあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) この問題は以外とやさしい。
- (2) とても快よい風が、ほおをなでる。
- (3) 東京へ行かれる人は、三番線から発車します。
- (4) わたしはあわてて転んだ子どもをだき起こした。
- (5) 夜の空に美しいみかずきが出ている。
- (6) まず一番最初に先生がお話になります。

ア 主語と述語が正しく対応していない。
イ 送りがなが誤っている。
ウ かなづかいが誤っている。
エ 文の意味が二通りにとれる。
オ 漢字の使い方が誤っている。
カ 同じ意味のことばを重ねて用いている

(1)	<input type="text"/>
(2)	<input type="text"/>
(3)	<input type="text"/>
(4)	<input type="text"/>
(5)	<input type="text"/>
(6)	<input type="text"/>

練成問題

1 次のそれぞれの文の——線部のことを、辞書に出ている形で書きなさい。

- (1) 夏休みに、むずかしい本を読でみる。
- (2) この夏は山でキャンプをしてみたかった。
- (3) あの先生がおこつたら、さぞこわがる。
- (4) 手続きをちゃんとすれば、何の問題もありません。
- (5) お金が足りなくて、その品物が買えなかつた。
- (6) 早くここまで来い、と父が上の方から声をかけた。
- (7) 母はだれに対しても親切なので、みんなに好かれている。
- (8) パジャマを着たまま、外に出ていく。

(5)	(1)
(6)	(2)
(7)	(3)
(8)	(4)

2 次の文は、二か所ある「が」の使い方が原因で、文の意味があいまいになっています。意味をはっきりさせるために、二つの「が」をそれぞれ別のことばで言いかえるとすると、どうなりますか。あとからふさわしいことばの組み合わせを一つ選び、記号で答えなさい。

へぶくたちの学校は高台にあるが、^①とてもながめがよいが、^②とにかく坂を登っていくのが大変だ。

- ア ① のに・② ので イ ① ので・② けれども
- ウ ③ けれども・② ので エ ① のに・② うえに

--

3 次のそれぞれの文の に入るふさわしいことばを、へ の条件に合うように、あとから一ずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) それ たいへんだ。〈強める場合〉
 - (2) 本を読んで いる。〈ものごとをそれだけに限る場合〉
 - (3) 水 あればけっこうです。〈それだけでもごとが足りる場合〉
 - (4) 目先のこと 考えられない人。〈ものごとをそれだけに限る場合〉
 - (5) レコード 聞きましよう。〈軽く、だいたいのことをさす場合〉
- ア さえ イ でも ウ しか
エこそ オ ばかり

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)

4 次のそれぞれの文の出だしに対応する文末表現を、——線部のことばに注意してあとから一ずつ選び、記号で答えなさい。(同じものは二度選べません)

- (1) かの女は必ずしも…… (2) かの女はたぶん……
 - (3) まさかかの女が…… (4) けっしてかの女は……
 - (5) どうしてかの女は……
- ア 来ることはあるまい。 イ 来るとかぎらない。
ウ 来ないのですか。 エ 来るでしょう。
オ 来ません。

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)

5 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

文のなかには、書き方があいまいなために、二通りの意味にとられて、意味のはっきりしないものがあります。このような文は、書いた人の言おうとすることが、正しく伝えられないことになりますから、文を書く場合には、正確に書くことが大切です。

これから、このことについて、次の三つの文をもとに考えましょう。

① 今日はいつものように勉強しなかった。

② 山田君と田中君の弟がけんかした。

③ ぼくは笑いながらかけていく妹を見送った。

④ 文は、このままでは、

(1) いつもとちがって今日は勉強しなかった。

(2) いつも勉強せず、今日もしなかった。

の二通りの意味にとられます。

そこで、④の文を、右の(1)の文のような意味になるように、はっきり書くことすれば、「いつものように」の次に ① という一語を加えるとよい

し、(2)の文のような意味になるように、はっきり書くことすれば、「今日は」

の「は」の部分で、 ② と改めればよいわけです。

⑤の文も、このままでは、

(3) 山田君自身と田中君の弟がけんかをする。

(4) ③ がけんかをする。

という二通りの意味になりますが、右の(3)のような意味ではっきり表すためには、⑤の文のままで、「山田君と」の次に、読点を加えることよいのです。

同じように、⑥の文も、 ④ という部分が、「ぼく」の動作なのか、「妹」の動作なのか、はっきりしないために、二通りの意味にとられま

す。この部分が、「ぼく」の動作を表しているようにはっきり書き改めるならば、「笑いながら」という部分を、「ぼく」という部分の前に置きかえるか、25 「笑いながら」という部分の次に、読点を加えることになります。

(1) ①・② に入る最も適切なことばを、それぞれ次から選び、記

号で答えなさい。

ア が イ は

ウ も エ と

①
②

(2) ③ に入る適切なことばを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 山田君と田中君

イ 山田君の弟と田中君

ウ 山田君の弟と田中君の弟

エ 山田君の弟と山田君

(3) ④ に入る適切なことばを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 笑いながら イ かけて

ウ いく エ 見送った